

在留外国人統計テーブルデータのご利用方法について

1. 概要

「在留外国人統計テーブルデータ」（以下「本データ」といいます。）には、在留外国人数に係る次のデータが入力されています。

- (1) 国籍・地域別
(2) 在留資格別
(3) 都道府県別
(4) 年齢別
(5) 性別

以上のデータをエクセルのピボットテーブル機能を用いて組み合わせることで、自由にクロス表を作成することができます。

2. 利用方法

- ## (1) データの見方

ダウンロード時には「ピボットテーブル」シートにエクセルのピボットテーブル機能を用いた表が都道府県別、国籍・地域別で表示されています。

※ 0 人の部分は空欄で表示されています。

このスクリーンショットは、Microsoft Excelの「データ」タブの「フィルター」グループにある「フィルター」ボタンをクリックした後の状態を示しています。この操作により、ワークシートの列の右端に小さな矢印（フィルターアイコン）が表示され、列のデータを絞り込むことができます。

図1-1-10の注釈は、この操作の具体的な結果と、その後の操作手順を説明しています。

① 北海道、アフガニスタン：79人
② 0017アフガニスタン
③ 0017アフガニスタン

この注釈は、ワークシートの特定のセル（例：A1, B1, C1）に適用されたフィルター条件や、特定のデータ行（例：0017アフガニスタン）の選択状態を示しています。

見方：「（令和２年末現在）北海道において在留中のアフガニスタン人は７９人」

- ## (2) 操作方法

主な操作例を記載します。

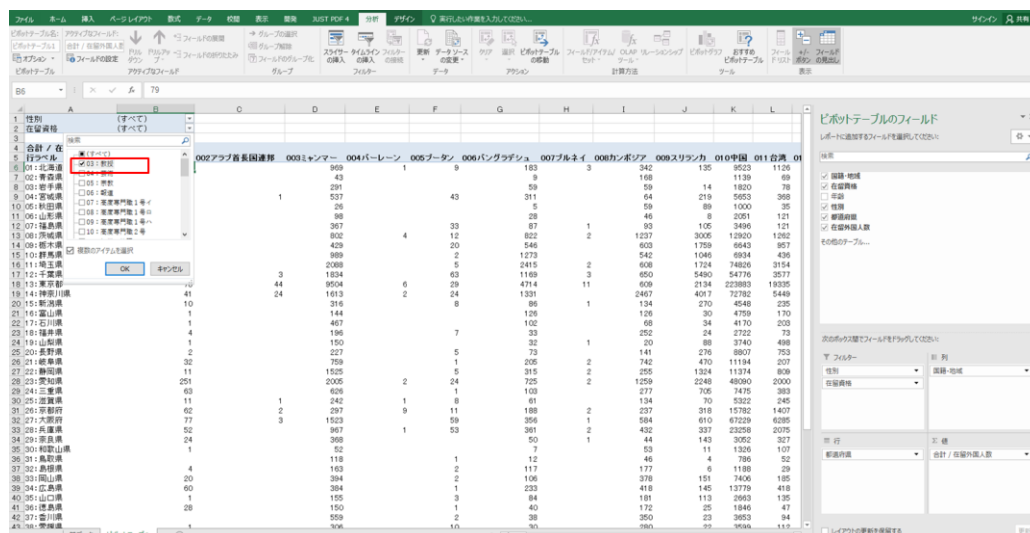
本データはエクセルのピボットテーブル機能を用いており、本書に記載されているものはピボットテーブル機能の基本の一部のみで、本書に記載されていない機能も

存在します。

ア 表にフィルターを設定する

画面左上にフィルター機能が表示されています。

ダウンロード時は在留資格が「(すべて)」になっており、フィルター機能で「03:教授」を選択すると、在留資格「教授」のみの都道府県別、国籍・地域別在留外国人数が表示されます。



※フィルターは複数の項目を同時に選択できます。例えば「23:技能実習1号イ」「24:技能実習1号ロ」をどちらも選択すれば、「技能実習1号」をまとめて表示させることもできます。

また、「性別」のフィルター機能を使用することで、男性又は女性のみの数値にすることができます。

イ 国籍・地域別を在留資格別へ変更

次の図のように、ピボットテーブルのフィールドの「列」枠の①「国籍・地域」をクリックしたまま上の枠に移動させ、代わりに上の枠にある②「在留資格」をクリックしたまま「列」枠に移動させます。

移動後は次の図のように、表の列項目が在留資格別になります。

移動後は次の図のように、表の列項目が在留資格別になります。

同じような操作で、行列の項目を自由に組み合わせることができます。

また、上記アのフィルター機能に「国籍・地域」の項目を追加する場合は、ピボットテーブルのフィールドの「フィルター」枠に「国籍・地域」を移動させます。

「フィルター」枠に「国籍・地域」を移動させると、国籍・地域のフィルタ機能が使用できます

ウ 列（又は行）に2つの項目を同時に表示させる

例えば、行に都道府県、列に年齢別・在留資格別の表を表示させたい場合、列に「年齢」「在留資格」を移動させます。

移動後は次の図のようになり、都道府県別、年齢別、在留資格別の在留外国人数が表示されます。

[illegible]

ご利用目的に応じて、上記ア、イ、ウの操作を組合わせてご利用ください。